

整理番号 S-104

出 展 織物欠点解析事例集(第 3 集)

欠 点 名 たて縞(張力斑)

品 名 ギャバジン※

試料形態 織物

組 織 2/2 綾(たて 88 本/インチ、よこ 65 本/インチ)

糸 使 い

たて糸:ポリエステル SD 加工糸 150d/34f 無撚糸

よこ糸:ポリエステル SD 加工糸 150d/48f (S)甘撚糸

欠点発生状況

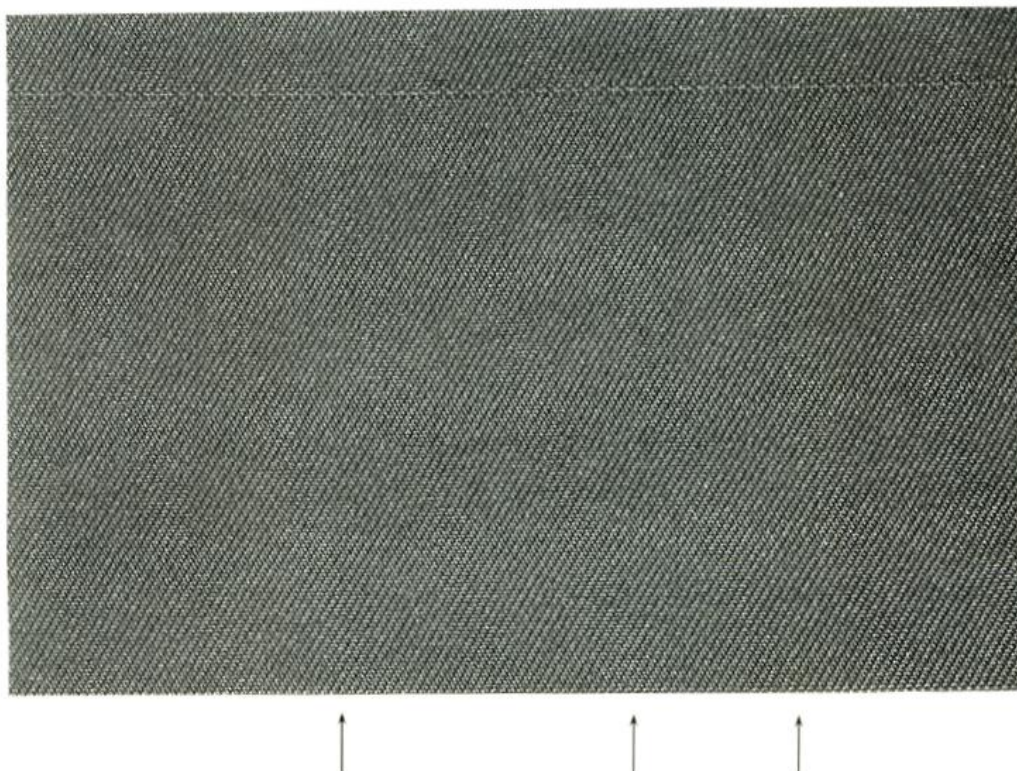
たて縞は濃く見える箇所、淡く見える箇所及びその中間色の箇所の 3 段階に区分できる。ただし、中間色の箇所が全体の 50%位である。サイジング 1 ロット全疋数にたて縞が発現した。

工 程

たて:原糸—仮撚—サイジング—巻返し—引込———WJL

よこ:原糸—仮撚—ダブルツイスター—ジャンボボビン巻—|

試料写真



※綿、梳毛、麻、ポリエステルなどで織られた密で丈夫でしっかりした綾織物

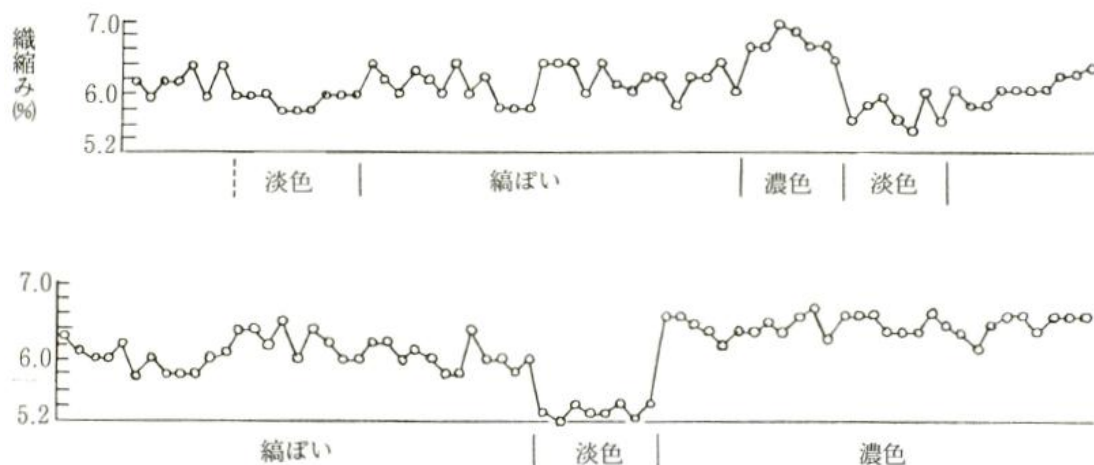
試験結果

(1)強伸度測定、(2)織度測定

項 目	濃色部の糸	淡色部の糸
見掛織度 (d)	159.3	160.0
強 度 (gf)	639.4	641.3
伸 度 (%)	33.5	32.8
糸の断面形状	両者間に有意差なし	

・どの比較項目についても、両者間に有意差はないと思われる。

(3)織縮み率測定(たて糸)



[原長 500mm、荷重 15gf、配列順に 135 本測定]

所 見

たて糸の織縮み率のグラフで明らかなように、織縮み率の大きい箇所は濃く見え、小さい箇所は淡く見える傾向がある。この織物はよこ糸が濃染する糸使いであることから、整経時の張力斑によるたて縞が一層目立つように作用したものと思われる。

クリールのワッシャテンサーを徹底的に掃除し、ワッシャーを全数整備済みのスペア品と交換することにより、たて縞は解消した。